

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

13733

クルーズ船誘致事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	クルーズ船誘致事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山港にクルーズ船を誘致することにより、観光客増加を図るとともに、クルーズ船寄港に伴う経済効果を生み出す。		クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、寄港地での観光消費額を向上させる施策に取り組む。また、クルーズ船寄港を目指した誘致活動を行う。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,794	833	5,617	0	5,511	1,794	5,443	0	5,443	0
伸び率(%)	205.6%	△77.2%	△52.4%	△100%	△1.9%	0%	△1.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,724	7,405	7,215	7,525	6,881	6,732	6,881	0	6,881
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,724	7,405	7,215	7,525	6,881	6,732	6,881	0	6,881
国庫支出金	5,897	415	2,742	0	2,698	896	2,698	0	2,698	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	5,897	418	2,875	0	2,813	898	2,745	0	2,745	0
所要人数(人)	正規職員	0.97	0.93	0.93	0.97	0.92	0.90	0.92	0.00	0.92
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	観光事業負担金 5,443千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	クルーズ船寄港数	隻	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	0	1		
			達成度(%)	0%	0%	33.3%	%	%
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	目標値	7,030	7,060	7,060	7,120	7,150
			実績値	4,468	4,653	5,629		
			達成度(%)	63.6%	65.9%	79.4%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	外国船クルーズの受入が再開となり、今後もクルーズ船の和歌山港への寄港が複数回予定されており、地域の観光協会や飲食・交通事業者等と連携し、おもてなしの強化を図ることで、さらに観光消費額の増加が期待できる。
見直し・改善内容	県や関係団体等と連携し、クルーズ船の誘致とおもてなし及び観光消費額向上の強化に取り組む。